

New Energy in Hokkaido

自然エネルギーと共生する大地 北海道

北海道の地域特性を活用した新エネルギーの導入のひとつとして
日本海側の恵まれた風況をいかした風力発電事業があります。
釧路の地にある稚内市の宗谷岬ウィンドファームをはじめ、
北海道各地に設置された風車は自然エネルギーと共生する
北海道の象徴となっています。

【釧路市ノオトンルイ風力発電所】



New Energy in Hokkaido

自然エネルギーと共生する大地 北海道

北海道は多量の日照条件が悪いものの、年間を通して比較すると東京と同じ程度の
日照量があり、太陽エネルギーの活用有望地域として期待されています。
NEDOが推進している稚内市のメガソーラープロジェクトは
北海道の太陽光発電の発展的な取り組みとして注目を集めています。
2020年以降の発電量は年々増加し、1000万kWhに達する見込みです。
北海道の太陽光発電の発展に貢献することから、北海道各地域の太陽エネルギーの
利用拡大が期待されています。

【稚内市ノ稚内メガソーラープロジェクト】

